

Title	雑報
Author(s)	
Citation	地球 (1930), 13(2): 153-159
Issue Date	1930-02-01
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/183713">http://hdl.handle.net/2433/183713</a>
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

見して愉快にたへない。同好の郷土研究家に本書をすゝめて  
地方語研究の榮とせられんことをすゝめたい。(F)

### ○農村教育研究第三卷第一號 東京世田ヶ谷町代田

一〇六四 農村教育研究會

本誌は創刊から三年目、二十號である、一冊二十錢一年二  
圓四十錢を會費としてゐる、本號は農村娛樂號である、南崎  
雄七博士の歐洲農村視察の一節が面白い、各地方農村の娛樂  
施設がのつてゐる、農村の中には今將に黎明の光に浴せんと  
する所が多い。予はかうした研究の益盛んにならんことを期  
待する。(F)

### ○郷土研究家名簿 大西伍一發行 東京世田ヶ谷町代田

一〇六四 農村教育研究會發行

我國の郷土研究家凡八百名の名簿である。各府縣別にして  
人名をあげた外に、その人々の重要な著述と研究題目とを洩ら  
さずしてある、これらの人士が互に氣脈を通じて郷土研  
究に進んだならば、我人文地理學の發達の上にも多大の効が  
あらうと考へる、本書は非賣品であるが右の會へ申込んだら  
實費でわけてくれるだらう。(F)

## 報 雜

### ○地質調査所出版物の發賣 從來商工省地質調査所

雜 報

出版に係る諸報告類并に地質圖等は其種類に従ひ丸善株式會  
社其他諸印刷所等數箇所にて發賣せられ購入希望者は甚だ  
不便を感じしが今般東京地學協會にて同所出版物を取次ぐこ  
とゝし震災後の出版物を蒐集中なりしが爾今數種の絶版物を  
除き他は悉く同協會にて發賣せらるゝことゝなりたり。

### ○地學岡岡山支部狀況 第三十五回例會、昭和四

年四月二十八日午前七時四十七分岡山驛發、中國線列車にて  
金川驛着、八木六高教授、中野二中教諭二氏指導の下に赤磐  
郡五城村伊田鑛山に向ふ(同鑛山は銅山なるが目下廢坑)午  
前九時頃到着、黃銅鑛、方鉛鑛、亞鉛鑛、孔雀石、方解石等  
の標本を採取して下山、浦上氏宅にて晝食を喫し暫時休憩の  
後零時半出發同郡竹枝村佐野鑛山に至り硫化鐵鑛、螢石、其  
他を採取す(同鑛山は硫化鐵鑛を産出すれども僅に採掘し小  
倉のベンガラ製造用として運搬しつゝあり)一行は山を越え  
て小倉に下りベンガラ製造の狀況を視察し歡待を受け數多の  
標本を送られ午後四時辭して歸途に就き午後五時五十六分金  
川發列車に投じ一同歸岡せり來會者會員二十三名岡山博物學  
會員九名合計三十二名の多數にて多大の利益を得たり。

○第三十六回例會 五月十九日午前九時より商業學校に開催  
左記講演ありたり。

歐米視察談

六高 富原教授

尙別室に於て寫眞、エハガキ、其他參考品の展覽及び説明あ  
りて後會員の質疑にも應ぜられたり右終はりて富原教授と偕

樂園食堂にて午餐を共にして散會したり會する者三十名なり  
き。

○第三十七回例會

六月二十三の兩日倉敷市教育會主催にて同市旭町小學校に於ける世界事情大講習會に出席すること  
、せり其概要次の如し。

- 1、北米合衆國に就て 板野新夫博士
- 2、聖部エルサレムを中心としてパレスタインの 近況に及ぶ 本多 操博士
- 3、獨 逸 林 雄 造博士
- 4、佛 蘭 西 服部峻治郎博士
- 5、勞農ロシア事情 林 桂二郎博士
- 6、英 吉 利 石川知福博士
- 7、和蘭、白耳義の地理的視察 古屋野橋衛學士
- 8、丁抹事情 同 上
- 9、伊太利、瑞西 石川知福博士
- 10、瑞典諸威 暉峻義等博士
- 11、南 洋 近藤萬太郎博士

以上我地理學専門家にあらざる博士、學士の方々の觀察が我々に多大の參考となりしを喜べり又此等の學者先生は勞働科學研究所、農業研究所、中央病院、紡績會社等を有せる倉敷にして初めて開催し得るなり、尙別室に數多の寫眞エハガキ器具標本を陳列せられたり。

○第三十八回例會

七月七日午前九時より商業學校に開會次

の研究發表ありたり。

- 1、尋常小學地理の研究 立川萬壽夫君
- 2、瀬戸内海の地形概説 泉永富太郎君
- 3、國境に就て 黒江徳次郎君
- 右終りて鐘紡絹糸工場の視察をなし工場長より
- 4、絹府物工業に就て

なる題目の下に數多の標本を示され一時間半にわたる講話を聴く當日の來會者二十七名なりき。

○第三十九回例會

九月二十二日商業學校に開會次の講話ありたり。

- 1、臺灣旅行談 安原貞三郎君
- 2、支那旅行談 浦上宗衛君
- 右終はりて寫眞、エハガキ其他標本を陳列展覽せり此間臺灣支那の事情につき質疑應答にて賑はしく午後四時散會せり、來會者二十六名。

○第四十回例會

十一月二十三日午後一時より倉敷天文臺の創立三週年記念會に赴き京都より山本博士、中村要の二氏及び六高の宮原學士等來會せられ次の如き講演を聴き尙晝は太陽黑點、夜は木星其他天體觀測をなす。

- 1、屈折望遠鏡と反射望遠鏡 中 村 要 氏
- 2、歐米天文臺瞥見 宮 原 節學士
- 3、天文學と天文臺 山 本 一 清博士

○第四十一回例會

十二月八日午前九時より商業學校に開會

左の講演ありたり。

1、スエズ運河とパナマ運河

元船長 岸本 洗太郎 君

2、經濟地理概論

花山 萬壽太君

右終了後本年度行はれたる文檢問題につき研究ありて午後三時半散會せり本日の來會者十八名なりき。

### ○地學同政會設立

此度、大阪市の地理教育に従事する人々に依つて地學同政會なるものが組織された。

本學國同人服部美登氏主宰の下に地理學の研究、郷土地誌の編纂、地理教育の普及發達のため努力することである。

舊冬地理講習會を大阪市立神子田女學校で開いたが、會期中一名の缺席もなく甚だ盛會であつた。

一、地理教材としての近畿地方

講師 服部美登君

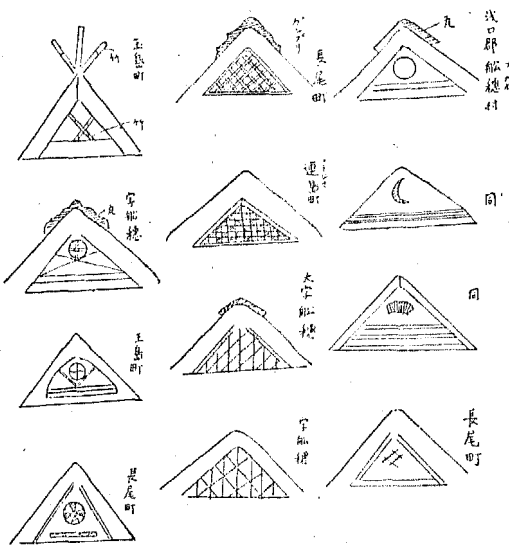
### ○岡山縣の破風

葺葺は瓦葺となり、瓦葺は洋風とかはる世の中ではあるが、もつとも民家として古典的な趣のある葺葺根を見て歩くのは興味の深いことである。私は生徒の助力により淺口吉備兩郡から入母屋造等の破風飾の見取圖を葉め之を整理したところ百五十六の様式を得た。

舊來の葺葺根は煙突がなく、其煙の出るところ、破風である。「民の竈は賑ひにけり」と云ふのも、此破風から出た煙であつたであらう。又、通風採光の用をもなしてゐる。破風飾の原始的なものは、(一)一把の稻藁の束の先をくまり、根

元を八方にひろげたと破風をふさいだもの、(二)二把の藁束を底邊にならべたものなどあるが、進んでは、(一)竹木を組み合せ、(二)狐格子を作り、(三)或は透彫をした板をはめる様になり、(四)現代の別荘などには、破風の一部にガラスをはめるものなども出來て來た。

破風飾は限られた三角形内に施すもので、單獨模様、圍み模様と云ふべきである。そして頂點がせまつてゐるから、こ



に、(一)三角形、(二)圓、(三)菱形、(四)屋號の頭文字又は姓(五)火除けの爲「水」の字を入れたもの及(六)其他の小さな紋様を置き、底邊は廣いから、直線を何本かひいてゐるのが普通である。其他はその轉化と見るべきものが多い。また破風内の上の三角形、圓等は素朴な時代に、こゝが自然三角形にあってゐた所から思ひつかんだもので、底邊の直線は長てな藁束を置いてあつた所から思ひつかれたと考へるも面白い。とにかく、どの家の破風を見ても、よく調和して、おちついてまんご末代住家とすべき安定さを感じさせる、こゝに掲げたのは、此地方の破風飾の一部分である。(花田一重)

## ○陝西の石炭

一九二七年一月海面下二千呎迄の全世界

の石炭埋藏量として計算された五、四九二、〇八五百萬佛噸といふに對し、陝西盆地には概算二、一〇〇、〇〇〇百萬噸を藏するといふ。これは最近米國の地質學者、フーラー及ラッブ氏の調査の結果である。従前はかうしたことは知れてゐなかつた。この多量の中四五三、〇〇〇百萬佛噸は採掘可能だといふ、今試に世界の石炭埋藏量をあげると、

米	國	二、七三五、五二七	百萬佛噸
支	那	二、一八三、四三〇	同
英國及屬領	一、一三八、二〇六	同	
獨逸	一八〇、八〇五	同	
ロシヤ	一六六、四九三	同	
ポーランド	一四八、〇七五	同	

其他

三〇、〇〇〇 同

これは「Internationale Betriebschaft」1927の數字であるが、この内四七〇、四〇七百萬噸は採炭可能と報告されてゐる際、北陝西盆地のみで四五三、〇〇〇百萬噸の採掘可能量をもつといふのであるから、實に驚くべき報告といはねばならぬ。但しこの兩氏の調査は古く一九一三年から一五年になされ今回は合計二萬哩の踏査をして、これを報告したのであつた。果してこの數字は正しいかどうかかわからぬが、これが内輪に見積つてゐることは事實らしい。

但し今日山西炭といつて市場に出るものは、大同及平定兩盆地及北陝西盆地の出炭である、大同の石炭は其實佳良でカロリー一四、〇〇〇B・T・Uにして開平炭よりもよい、今後五十年は採掘されるが現在(一九二八年)は四十萬噸を出した。この石炭で北平綏遠鐵道が動いてゐる、平定石炭盆地は小規模のもの多く豐鎮炭坑が最大である。

ついで北陝西の盆地をみると約十萬平方哩の礦區があつて採掘可能量は一五七、〇〇〇百萬噸といふが實際は土着の手掘ですべて規模は小さい、いづれも交通運輸の手段が開けぬからである。しかし今の包頭線が隴州に達し、黄河の水運が利用されるならば、大陝西盆地の石炭は驚くべき急速の發達をしめすであらうといふことである。

## ○オーストラリアの羊毛

一八七九年ストラスリーペン號が初めて凍肉をつんでメルボルンから倫敦へ航海に成

功してから、この國の従前の羊毛のみを注目してきた飼羊家は肉にも注目しはじめ、羊毛と凍肉とを目的とする羊の雜種が増加した。今日では濠洲の羊の内約四割は雜種で、その成績もよい。しかし雜種は土地の良好な地域に限られる不便があるので、何といつても強いメリノが今日も濠洲羊毛の中堅である。即羊の六割は純メリノである、しかもそれは濠洲型メリノといふものでメリノ中世界第一のものである、故に南阿は濠洲メリノを輸入して羊毛國となり、今日では牡羊を北阿やロシヤに輸出するやうになつた。濠洲での羊は最近にその總數一億六百萬頭に上つた。これは一八九一年以來のレコードであると同時に、その羊毛產出比は一八九一年以前に一倍半に達する良種に變化した、昨年には九億五千萬封度の羊毛を產出したから、一頭平均九封度を產するに至つたのである。その產額剪毛と羊皮と合せて六千五百萬磅に達した、現在では濠洲は羊の背に乗つてある國といつてよい。

しかし數年來羊毛の價格は下落して、世界の羊毛製造家は困難してゐるために、各國にそのストックが多い、従つて本年は濠洲は羊相場の下落のために千五百萬磅乃至二千萬磅を失ふことになるであらう。

これは全く人造絹糸の出現による結果で、安い人絹をきて高い羊毛をきない結果である、この事は日本のモスリン織物業者が苦しむと同様に、世界を通じての現象であつて、男子用の靴下や下著が大抵人絹になり、婦人は婦人で變化流行の

はげしい時代に、丈夫な羊毛よりも、始終變化する人絹をきるやうになつたからである。蓋し人絹は現今一封度十一片で製造が出来る、羊毛の安價でも同程度毛糸を造るには少くとも三倍の費がいる。

これに對してセーイーウカーデル氏は濠洲人につけて曰くこれは悲觀してはいけない。現在に於て濠洲の生産費は高すぎる、南阿では濠洲の三分一で羊毛をつくつてゐるのを見てもわかる。科學的に經營すれば安價な市價でも之にたえらるであらう。

生産費を遞減するために、毎エーカーの羊肉及羊毛の生産量を増加すればよい、之をなす方法は牧場に施肥改良を加へることである、ヴィクトリヤ州西部地方では既に施肥によつて成績をあげてゐる、牧草繁生方法が講じられてゐる、もし適當にすれば同一面積で二倍數の羊がかへるのみでなく、羊の繁殖及大さが一層良好となつて剪毛量が増加するのである人絹の爲めに羊毛が需要を減じたとしても、食物はまだ人造でできない。羊肉の需要は益増加する。大に努力しやうではないか(但しこの意見は日本の農業に對しても同様にある暗示を與へる)二十年以前日本は濠洲から僅に一萬俵しか羊毛を買はなかつたが近年は三十四萬俵を輸入するやうになつた羊毛の需用は決して退歩はしない、支那が將來莫大な需用地となるであらうといつた。

○瑞西のアルミニウム スイスの同工業は發電機及水力發電の發明の結果長足の進歩をなし、一八九〇年以來

有望なる工業の一となり、現に瑞西の金屬工業中重要なるものの一である。其製造原料たる粘土 (Alumina) は外國より輸入するが、國內電力が豊富なために其産額二萬一千噸に及ぶこの大部分は輸出されて、一九二七年輸出額一萬八千四百噸に達した、その製造會社中最大のものはアルミニウム工業會社で歐洲にて最初に水電應用のアルミニウム工場をライオン河畔ノイハウセンに建てたものである、現在その附屬工場はノイハウセンの外、チツピス、サインフェルデン、シエール及境國內レンドの五ヶ所にある、就中チツピス工場は歐洲最大と稱せられる。同會社の株式拂込は五五、〇〇〇、〇〇〇瑞西法、積立金一〇、五六〇、〇〇〇瑞西法、社債六、四〇〇、〇〇〇瑞西法で二千三百五十人乃至二千九百人を使用し、主としてアルミニウム條。アルミニウム合金、アルミニウム合金延金をつくつてゐる。

原料粘土の供給國は獨逸と佛國である、その産出品購買國は獨逸、米國、英國、日本、白耳義である。

この輸出の三分の二はアルミニウム箔にして、三分一はアルミニウム器具、包装材料である。箔は菓子、チョコレート、烟草、茶等の包装紙になる。

**○瑞西と日本との貿易** 一九二八年に本邦よりスイス國への輸入額二千六百四十四萬法(約千六十六萬圓)にして、瑞西より日本への輸出額は五千五百九十一萬法(約二千二百四十萬圓)に上つた。本邦より瑞西への輸入は、瑞西よりの輸

出の半分にもならぬ。

輸入の重要なのは生糸千九百十八萬法に絹絲屑繭及ペニを合計して二千四百十三萬法、輸入の八割一分に達する。生糸について麥稈眞田、絹布等がある。つぎに瑞西より日本への輸出品中其額最大なるは時計類の千九百五十八萬法、輸出の約四割に達する、懷中時計のムーブメントが最大である。時計の次に石油、揮發油による發動機四百二十七萬法、發電機二百九十萬法、水力及風力發電機車噸百三十萬法がある機械の外、藥劑、染料、化學製品、八百三十五萬法、アルミニウム五百六十六萬法、綿織物四百二十六萬法、綿刺繡九十三萬法、器具器械百二十六萬法がある。山の中の小國でも工業國だけに與へられる所が多いといふことは、注意すべき事實ではないか。

### ○アフガニスタン、ヘラツト州

この國は山岳重疊し交通不便であるが、高山には雪が積るので、豊富な水源となり、アムダリヤ、モルガブ河は北部に、ハリ、ルード河は西に、ヘルマンド河は南に、カブール河は東南に流れ夫々流域に肥沃な平野を開く。

行政上國は九州にわかれ、カンダハール、カブール、ジャラバード、ヘラツト、及マザレシャリーフの五州を重要とし、他にホスト、フアラ、メーマーナ、カダガン、バダクシヤンの四州がある、人口は千五百萬と稱するも實際は八百萬位であらう。

ヘラツト州はアフガニスタンの西部及西北部をしめ、北部は露領トルキスタン、西は波斯のホラサン及シスタン州に接し、域内にはハリルド、及モルガブ兩水がながれて平野が廣い。

州内人口百五十萬、ヘラツト市を中心とせるハリルド河流域に集中し農牧を營む、農業は河岸にひらけ堰を築き溝を通じ、集約の田圃が見られる、米、麥、裸麥、棉、阿片、豌豆、マージ、アーダス等を栽培する。牧畜は遊牧民の手に行はれて、アフガン族及タージキ族の手にある、羊、駱駝を山麓の草原地帯に放牧し、暗黒色の天幕から世俗の外に烟を上げてゐる、是等をクーチと稱し羊毛、毛皮、バター、羊油等を主産物としてゐる。又山岳地方では狐貂等の獸皮がとれる。

ヘラツト市は政治交通商業の中心で、市の半はバザーから成立する、人口三萬に近い、只今では自動車でカンバートルからニューチャマンに出で、印度西北國境鐵道に連絡する、又北は自動車でクシキをへてロシヤの鐵道に通ずる、猶西は波斯へ自動車を通じ、東隊商がトルキスタンにゆく、對印對露の貿易が主であるが、晒白木綿は印度品及日本品、キヤリコは全部日本品がうれるといふ、紅茶を飲まないで、全部綠茶をのむ、上海から輸入される量が多い、日本からの茶飲茶碗、アルミニウム製器、琺瑯鐵器などが輸入される。

### ○朝鮮國境圖們線開通

昭和二年六月起工した圖們線鐵道は、三工區完成雄基、新阿山間四〇、三哩につき、十一月十六日から營業を開始する事となつた。

この新線に沿ふ平野及び豆滿江を距て、支那琿春地方に至る農産物、同地方の木材、慶興郡に亘る石炭がこの線によつて運出さるゝのである。從來は交通不便の爲に、僅に自動車や牛車によるの外なく、採算立たざる爲に豊富なる物資も開拓せられなかつたが、本線の開通によつて産物も頗る増加し殊に將來吉會線開通の曉は、滿蒙の物資がこの線によつて雄基港に吞吐されるので、朝鮮の産業と雄基港の發展に著しき影響を及ぼすであらう。

尙本線の各驛は雄基、雄尙、力龍坪、供儀、四會、青鶴洞阿吾地、松鶴、新阿山であつて傍線を附せるものゝ外は皆簡易驛である。

## 質疑應答

【問】 コーカサス油田

埼玉 Y 生

【答】 高加索の油田とは、(一)アプシエロンスキー半島及其附近(二)テールスキー地方裏海に沿ひてダゲスタン領に連るもの(三)クバンスキー地方の三油田地を總稱す。

北高加索ではクバンスコ・チエルノモルスカヤ州に油田があつて、アナバ及テムリユグ附近の海岸より、始まり東南に向てアシエヒ河の左岸に延び、マイコアスキー、カルージスキー、イリスキー、クレイムスキーの諸區が主要坑區である